



※本説明書は、施工後、お施主さまにお渡しください。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

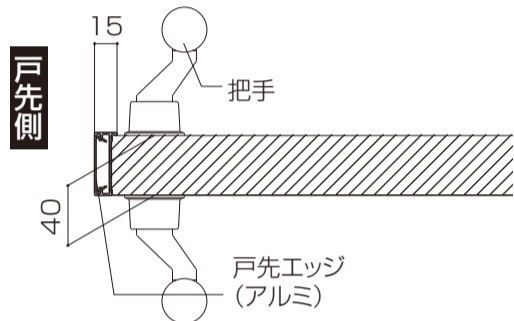
●把手は取付け方向の説明に従って正しく取付けてください。取付ける方向を間違えると手を挟むおそれがあります。

取付け順序

※本体把手取付部のドア厚を確認してください。

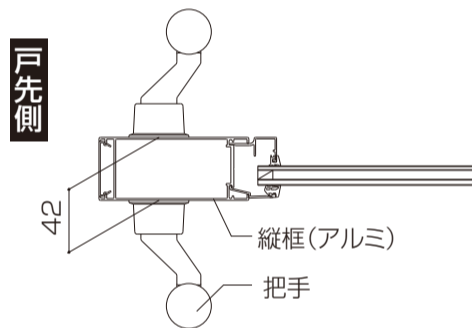
ドア厚40mm仕様 (本体鋼板仕様)

●ワッシャを外してください。



ドア厚42mm仕様 (本体アルミ仕様)

●ワッシャを外さないでください。



※戸先錠ケースを先に取付けてください。

①室外側把手の取付け柱が戸先錠ケースの穴(A)に挿入され、ジョイント部がラッチングスライダの穴(B)に挿入されるように切欠きに差込みます。

②室内側把手をジョイント部がラッチングスライダの穴(B)に挿入され、取付け柱先端のくぼみに室外側の取付け柱が入るように切欠きに差込みます。

③取付けねじ(M4×35 頭部色付き)で固定します。

※必ず室内側からねじ止めしてください。外側から外されるおそれがあります。

※ねじを強く締め過ぎると縦框が変形し、縦框と縦框カバーとの間にすき間ができるおそれがあります。

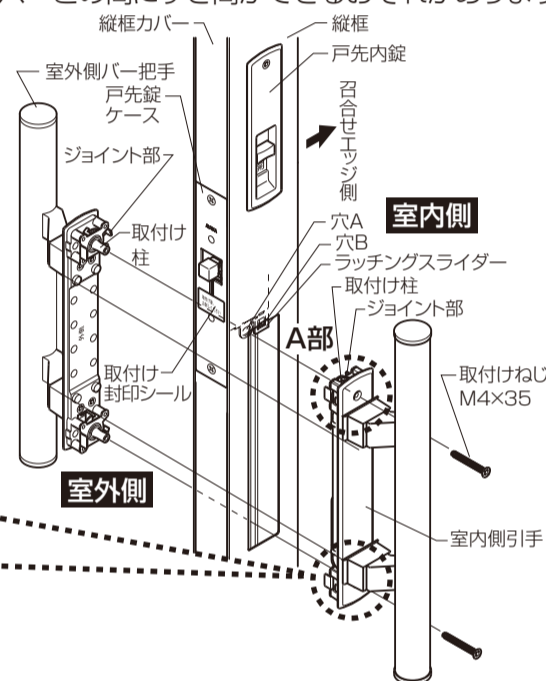
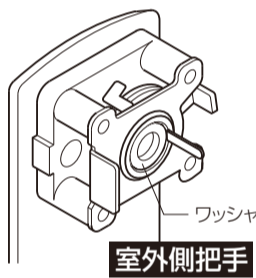
※把手を解除操作したまま取付けると、ジョイント部がラッチングスライダの穴(B)に入らずラッチ解除操作ができなくなります。

※戸先錠ケースの取付封印シールは戸先錠、把手を取付け後にはがしてください。

A部詳細図

※ドア厚 42mm仕様 (本体アルミ仕様) にワッシャを外してハンドルを取付けた場合、ハンドル固定ねじを締め込んだ時に本体にひずみが発生するおそれがあります。

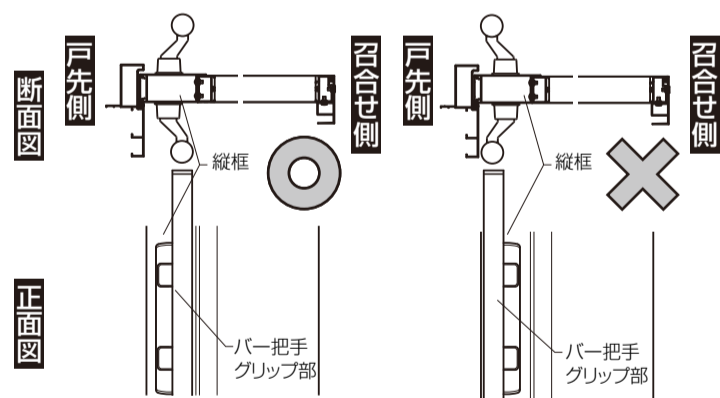
※ドア厚 40mm仕様 (本体鋼板仕様) にワッシャを外さないでハンドルを取付けた場合、ハンドル固定ねじが締めきれずハンドルがたつくおそれがあります。



把手の取付け方向

●把手は必ずグリップ部が召合せ側になるように取付けてください。

※逆に取付けるとラッチ解除操作ができなくなったり、部品が破損するおそれがあります。



▲注意

●把手は取付け方向の説明に従って正しく取付けてください。取付ける方向を間違えると手を挟むおそれがあります。

操作方法

●可動把手の操作はグリップ部を本体の開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。

